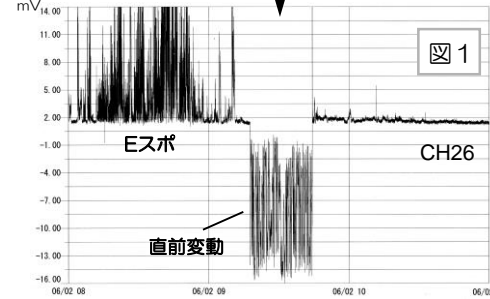


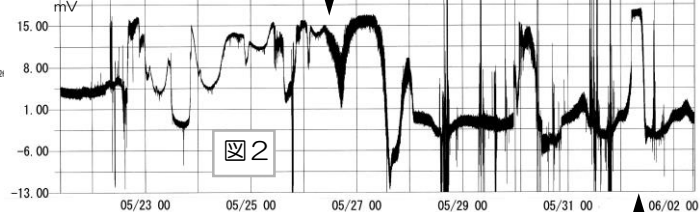
※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail または FAX で配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様へ配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

**No1778 本日 CH26に直前変動としか考えられない変動観測→現在迄の認識推定間違い  
「6月13日±3 対応地震発生の可能性」に緊急修正**

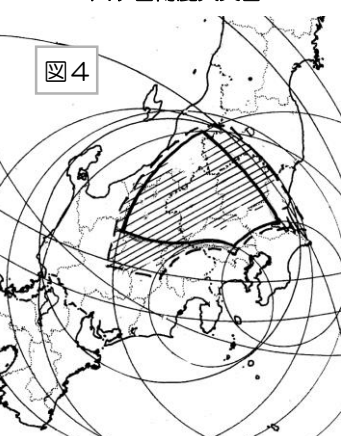
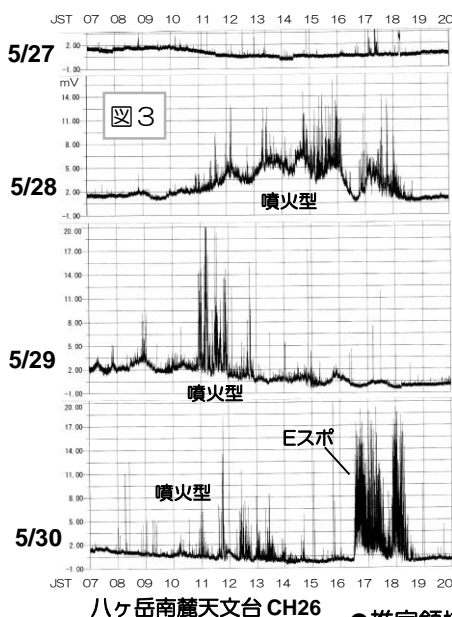
極大 4/8.0 — 直前変動 6/2.4 — Tmap:Tpa=6:1 → 6/13 ± 3



極大 4/3.5 — 静穏化 5/26.4 — Tmap:Tpp=3.9:1 → 6/13 ± 3



極大 4/3.5 — Tmap:Tpa=6:1 直前変動 6/1.4 → 6/13 ± 3



◆前回の報告まで、6/2±3 対応地震発生の可能性を考えておりました。しかし本日 6/2 午前9時30分を中心にハケ岳のCH26に図1のとおり、基線から下向きの特異変動が観測されました。基線から下向きの変動はCH26の極大変動と同じで、4月中旬以降一切この変動は出現しておりませんでした。従って、本日午前に出現した図1の変動は、直前変動と認識されます。前回の報告でCH34が5/26昼頃に静穏化した波形を報告しましたが、CH26も5/26の午後に基線が細くなり静穏化していました。CH34とCH26は、4/8中心の極大であると再認識しました。極大4/8.0～静穏化5/26.7とした場合=6/12±3 発生の可能性が計算されます。図1の場合も 極大4/8.0～直前変動6/2.4で計算しますと6/13±3 発生の可能性が示されます。図2は秋田観測点のA5基線ですが、直前変動の可能性としての5/22～25の変動はまだTaa（前兆期間）であり、5/26.4に静穏化と再認識。また昨日6/1.4の変動は直前変動と認識しますと、どちらからも6/13±3 発生の可能性が示されます。以上のことからNo1778の **Stage-34** は **6/13±3** を示し、**対応地震発生の可能性**と認識されることとなります。緊急に修正させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

◆噴火型前兆変動は、5/30の夕刻以降、5/31、6/1とスプラディックE（Eスポ）が顕著で噴火型は確認できませんが、図3のとおり複数日に渡り出現が観測されました。噴火型変動は1日だけの出現の場合は火山近傍での地震活動の前兆変動ですが、複数日出現の場合は噴火活動に至っています。前回、浅間山での変動極大～噴火までの日数は5日±3と記しましたが、2004年9/1の噴火の際は19日でした。また北側火山ではなく参考ですが、2014年9/27の御嶽山の水蒸気噴火の際は

- 推定領域：図4の点線領域内=大枠推定領域 16日でした。今回は5/28が極大と  
斜線領域=火山近傍で考えやすい 認識され、仮に6/13±3発生となる  
(太線領域内=可能性が考えやすい・参考) 場合にはTmap=16日±3 とな
- 推定規模：M8.0±0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い) りますので噴火の可能性は否
- または 複合地震 定できません。No1778対応地

複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが Log L=0.5M-1.8 (Utsu.) 震発生に伴い、震源に  
式で合計で110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性 近い火山で噴火活動が

- ※地震発生に伴い震源に近い火山で噴火の可能性考えられる 生じる可能性が考えられる
- 推定時期：6月13日±3 見解です。火山噴火型は地震と同様に範囲が推定されますが、火山を特定することはできません他、地震前兆変動の様に活動日を算出する経験則もまだなく、
- ※但し現推定を覆す変動が観測された場合は修正します 過去例を参考にすることは
- 推定地震種：震源浅い日本列島陸地殻地震 ありません。
- 推定発生時刻：午前8時30分±2時間 or 午後6時±3時間
- (複合地震では当てはまらない)
- ※17年以上継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析 過去例を参考にすることは
- が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。 ありません。